

# 第5回外濠市民塾 地形から見る四谷の今昔

## 実施レポート

日時：4月11日（土）13:30～  
場所：土木学会

- 【1】実施概要
- 【2】セミナー
- 【3】ウォーキングラリー
- 【4】交流会
- 【5】参加者の声



ウォーキングラリーのチェックポイント 須賀神社

## 実施要項

日時：4月11日（土）13:30～17:00

場所：土木学会（四谷 外濠公園内）

プログラム： 開場：12:30 開始：13:00

1) セミナー 講師：法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授 森田喬先生

地形から見る四谷の今昔

2) ウォーキングラリー

8グループに分かれ、地形図だけを頼りに四谷若葉地区を中心とした3か所のチェックポイント、11か所の見どころを散策しました

3) まとめ

市街地の白地図上に、歩いてきたルートや参加者の気づきなどを付箋でプロット、情報共有しました。

4) 交流会（希望者） 17:30～19:00

土木学会 AB会議室

主催：外濠市民塾実行委員会

共催：新宿区立四谷図書館（指定管理者 紀伊國屋書店・

ヴィアックス共同事業体）

公益社団法人土木学会 景観・デザイン委員会

## 参加状況

■ セミナー・フィールドワーク・フィールドワークまとめ

参加者：103名

（一般参加：81名、学生及びスタッフ：22名）

■ 交流会

参加者：25名（内学生7）



新緑が映える土木学会講堂からの風景

## スタッフ・協力

■ 外濠市民塾実行委員会

委員長 陣内秀信（法政大学）  
福井恒明（法政大学）  
小松妙子（法政大学）  
高道昌志（法政大学）  
亀田和宏（DNP）  
廣田幸司（DNP）  
滝川芳男（DNP）  
渡辺安広（DNP）  
遠藤ひとみ（四谷図書館）  
西郷彩音子（四谷図書館）

■ 協力

東京理科大学 神楽坂地域デザインラボ（宇野求教授、学生の皆さん）  
中央大学 理工学部都市環境学科 水理研究室（山田正教授、学生の皆さん）  
日本大学 理工学部まちづくり工学科（阿部貴弘准教授、学生の皆さん）  
法政大学大学院デザイン工学研究科（建築学専攻・都市環境デザイン工学専攻学生の皆さん）  
法政大学 エコ地域デザイン研究所  
DNP ソーシャルイノベーション研究所



会場の土木学会

### 実施要項

開催時間：13:00～13:10 法政大学エコ地域デザイン研究所 陣内所長 より冒頭挨拶  
13:10～14:00 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授 森田喬先生  
14:00～14:10 休憩  
14:10～14:30 まちあるき説明、グループ分け、順次まちあるきに出発 進行：研究生 高道昌志  
司 会：法政大学エコ地域デザイン研究所 福井恒明 兼任研究員  
場 所：土木学会 講堂

### セミナーの様子



冒頭挨拶 陣内先生



森田先生 講演



セミナー会場の様子



ウォーキングラリー出立の様子

## セミナー要旨

## 「地形から見る四谷の今昔」

## 大きな地形：2万5千年前氷期の古東京川



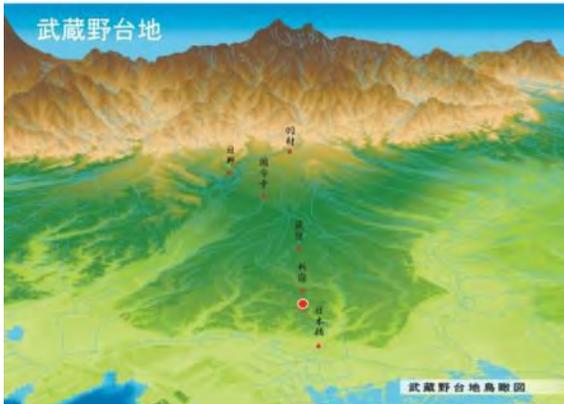
- 関東の地形を大きな視点で見ると、氷河期の東京川の時代から大きな扇状地の構造で成り立っているのがわかります。
- 現在でもその大きな構造はいろんなところに残っていますが、そこから人の手によって地形を活かした活用がなされ、現在の姿になってきました。

## 縄文海進 (+7m)



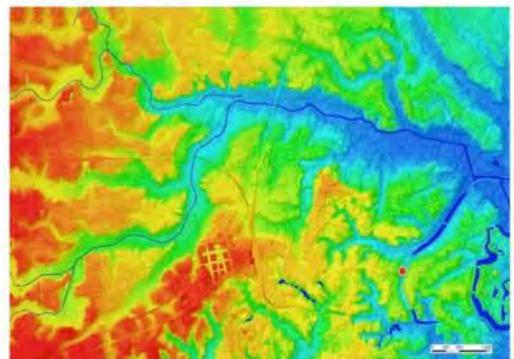
- 氷河期では海水面が現在よりも低く、東京湾も陸地で古東京川が流れていました。
- 縄文期あたりになると集落ができるようになりますが、海水面は現在よりも高く、集落の遺跡があるところは昔の海岸線に沿って少し高い場所に位置していることが多いです。

## 武蔵野台地



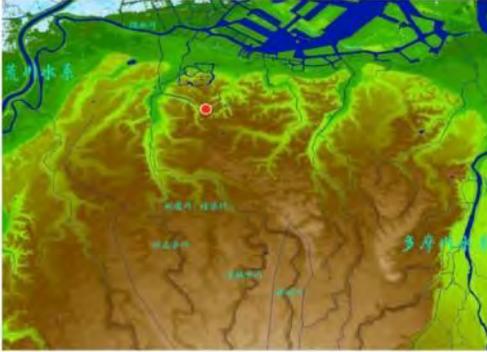
- 現在の東京都市部の輪郭ができるのは江戸開幕以降ですが、多くの交通路は台地の稜線に沿って作られていて、それが現在の幹線道路にもなっています。
- 山間部に入るとその稜線は分水嶺にもなり、神田川水系と多摩川水系に分かれています。

## 建物無し：地形



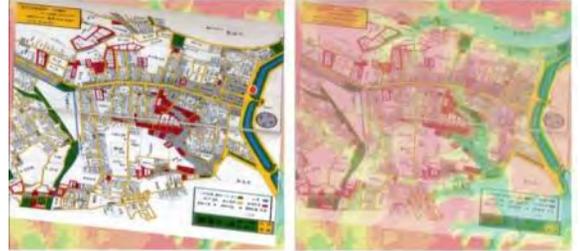
- 四谷においても大地の稜線に沿って主要な幹線が引かれているのがわかります。
- 現在もその幹線が使われています。幹線に沿って住居などが建てられていき、街の発展の軌跡が読み取れます。

### 水系の制御：



- 分水嶺は水の流れの制御にも使われていて、地形をうまく使いながら江戸城下全域にわたる水道網が作られました。
- 江戸城外濠にもその流れを利用して、ちょうど四谷大木戸から真田濠が一番高い位置になり、地形を利用して濠全体に水が流れるようになっていました。

### 地形と街並み：



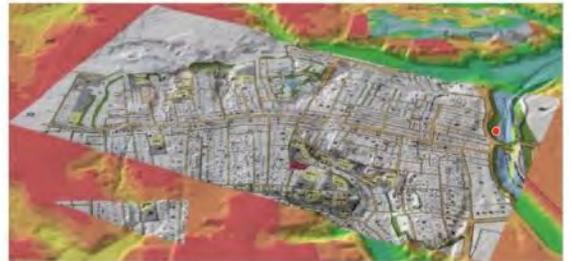
- 古地図に地形図を重ねてみると、地形とまちの発展との関係が見て取れます。
- 台地の高台に沿って幹線が引かれ、幹線沿いにまちが発展していきます。谷間の部分はそのあとに形作られていきます。

1679



- 時代とともにまちの発展がみてとれます。
- 後の時代になるにつれ地図の精度も高くなって、うまく重なるようになります。

1898



- このように地形を見ながらまちを見ていくと、まちの様子もまた新たな発見ができて、面白味が出てきます。
- これからまち歩きに出かけますが、面白い発見がたくさん出てくるでしょう。

## 実施要項

- 開催時間：14:10～14:30 ウォーキングラリー説明  
 14:30～14:40 グループ分け、順次ウォーキングラリーに出立  
 14:40～16:30 グループ単位でコースを決めてウォーキングラリー  
 16:30～17:15 ウォーキングラリーまとめ

場 所：新宿区若葉地区周辺

実施内容：8グループに分かれ、地形図だけを頼りに四谷若葉地区を中心とした3か所のチェックポイント、11か所の見どころを散策しました。3か所のチェックポイントは必ず通過するというルールのみで、歩くコースはグループごとに話し合いをして各グループで多様なまち歩きが行われました。

- ・チェックポイント3か所：四谷見附、鮫ヶ橋、須賀神社  
 説明員がついてチェックポイントの解説、スタンプで関所通過を確認
- ・見どころ11か所：市谷濠、四谷見附橋、真田濠、玉川上水、真田濠の土手、甲武鉄道トンネル  
 都電軌道跡、迎賓館赤坂離宮、鮫ヶ橋、四谷の神社、神輿の駐機場

まとめ

- ・市街地の白地図上に、歩いてきたルートや参加者の気づきなどをプロット、情報共有しました。

## ウォーキングラリー・スタッフ

役割	スタッフ	
チェックポイント 説明員	四谷見附	法政大学M1 渡辺 翔太 法政大学M1 平野 綾子
	須賀神社	四谷図書館 遠藤 ひとみ
	鮫ヶ橋	四谷図書館 西郷 彩音子
ウォーキング ラリー引率	日本大学	理工学部まちづくり工学科B3 水石 知佳 理工学部まちづくり工学科B3 柳川 星
	中央大学	都市環境学専攻M2 津島 優樹 都市環境学専攻M2 陳 珊珊 都市環境学専攻M1 高山 直人
	東京理科大学	建築学専攻M1 有賀 彩花 建築学専攻M1 上原 龍太郎
	法政大学	工口地域デザイン研究所兼任研究員 小松 妙子 都市環境デザイン工学専攻M1 北村 亮輔 都市環境デザイン工学専攻M1 山科 盛人 都市環境デザイン工学専攻M1 芳賀 徹也 建築学専攻M2 橋爪 満帆 建築学専攻M1 林 千絢 建築学専攻M1 加藤 智也 建築学専攻OB 渡部 紀大
	DNP	ABセンター 亀田 和宏 ABセンター 廣田 幸司 ABセンター 渡辺 安広

## ウォーキングラリーのようす

■チェックポイント 四谷見附：外濠をテーマに卒業論文を書いた法政大学渡邊さんと平野さんが説明員となり、明治以降外濠、内濠に対してどんな記事がどれくらい取り上げられたかを解説しました。戦前は外濠に対する記事は内濠よりも多く、戦後は記事の中心が内濠に移っていき、外濠への関心が薄れていったことが読み取れます。



■チェックポイント 須賀神社：四谷図書館 遠藤さんが解説。毎年6月には例大祭が開催されます。隔年で須賀神社の参道に18基の町会御輿が並ぶ姿は壮観です。特に、御輿をすり足で担ぐ形は独特で「四谷担ぎ(千鳥担ぎ)」と呼ばれています。



■チェックポイント 鯨ヶ橋：四谷図書館 西郷さんが解説。四谷周辺でも谷間で標高が低い場所です。鯨川、鯨ヶ橋などの地名から読み取れるように、昔は海岸線がこの辺りまで来ていたといわれています。明治には鯨川が暗渠になり、せき止められたので「せき止め」と「咳止め」をかけた、せきとめ神が生まれました。



## ウォーキングラリーに使用した地形図



ウォーキングラリー チェックポイントで使った 消しゴムスタンプ

(法政大学 小松 妙子 作)

## ウォーキングラリーまとめ

ウォーキングラリーで持ち帰った情報をもとに、白地図上に付箋で気づきをプロットしました。各グループ特色ある気づきの発表がありました。普段気にしないで歩いている地形を意識して歩くと、いろんな発見があったという感想がたくさんあげられました。



### 実施要項

開催時間：17:30～19:00

場 所：土木学会 AB会議室

参加人数：28名

### 交流会の様子

今回は法政大学、東京理科大学、中央大学、日本大学の4大学の学生が参加し、いつもよりも若い人が多く活発な交流が行われました。



参加された方のご意見をアンケートから拾いました。（回収：36部）

### ■地形について

- ・高低差のある地形は感じていた（12名）がおられる一方、谷というイメージはなかった、地形は意識してなかったなど、地形に対する意識に差が出ていました。
- ・地形とまちの成り立ち、尾根伝いの水の流れ、など地形とまちとのつながりを再発見した方がたくさんおられました。

### ■地域について

- ・歴史や景観、地名の由来など地域に根差した話に関心を持っておられる方が多く、説明を聞いて改めて理解できたという感想をいただきました。
- ・また地元に住んでおられる方は地域のことに詳しく、ほかの参加者の皆様に地名や祭りにまつわるいろんなことをお話いただき、参加者の関心も高まりました。

### ■その他

- ・レクチャーの後ウォーキングラリーをしたことでイメージが膨らんだ、地域を知ることの大切さが実感できた、などの感想をいただきました。

### ■今後の企画について

- ・歴史や伝統・文化に関する関心が高い方は多く、まち歩きと歴史のセットにする企画にご要望が多いようです
- ・また面白いところがたくさんあるので、そのことを外部の人に伝えていく必要があるとのこと意見も頂きました

## 次回予告

### 第6回外濠市民塾「地形から見る四谷の今昔 パートⅡ」

日時：10月10日(土) 12:30受付開始/13:00開始

会場：土木学会(四谷一丁目外濠公園内)

入場：無料

交流会：希望者(会費1000円程度)

※ウォーキングラリーは荒木町地区を予定しております。